

平成30年 5月23日

田辺市議会議長 小川浩樹様

会派名 紀新会
代表者名 尾花 功

出張（要望・陳情活動、研修）報告書

下記のとおり出張（要望・陳情活動、研修）いたしましたので、その結果をご報告いたします。

記

参加議員	尾花 功、安達 克典、塚 寿雄、宮井 章
期 間	平成30年4月22日（日）～ 平成30年4月24日（火）
実施場所 （研修会場、視察先、 相手方等）	<ul style="list-style-type: none">・自由民主党本部 自由民主党幹事長室・参議院会館・農林水産省（農村振興局）
活動の目的・内容 及び結果等	<ul style="list-style-type: none">・鳥獣害被害防止総合対策事業補助金の十分な予算確保を求める要望書の提出。・農林水産省（農村振興局） 野生鳥獣のジビエ利用促進について （ジビエのさらなる有効活用について）

報告書は別添のとおり

出張(要望・陳情活動、研修)報告書

1.日 程 平成30年4月22日～平成30年4月24日

2.実施場所 自由民主党幹事長室
参議院議員会館
農林水産省(農村振興局)

3. 活動の目的・内容

- ・鳥獣被害防止総合対策事業補助金の十分な予算確保を求める要望書の提出。(別紙要望書添付)

陳情状況(二階自民党幹事長)



昨年、11月より補助金が枯渇し、鳥獣害対策のため鹿やイノシシ駆除を行ってもらっているハンターの方より補助金申請をしても、補助金支給を待ってほしいと役所より通達が来ているとの相談が多数寄せられていたため、補助金の増額を含めた、充実・拡充について要望書を提出した。

・農林水産省(農村振興局農林環境課鳥獣対策室)

※鳥獣被害防止対策とジビエ利活用の推進
(ジビエのさらなる有効活用について)



平成30年度予算の概要の説明及びジビエ取組みの優良事例等を約1時間半講義していただき、意見交換を行った。

政策目標

- ・鳥獣被害対策実施隊の設置数を1,200に増加(平成32年度)
- ・野生鳥獣を約60万頭捕獲(平成30年度)シカ、イノシシの合計数
- ・平成30年度にジビエ利用のモデルとなる地区を整備し、ジビエの利用量を平成31年度に倍増する。

平成30年3月に、ジビエ利用モデル地区17地区を選定し更なる捕獲から運搬・処理加工、販売がしっかりとつながって、安全で良質なジビエを安定供給する施設として公表している。

4. 活動の結果等

昨年の11月より、鳥獣被害防止総合対策事業補助金が底をつき駆除を行っている、ハンターの方々は有害鳥獣を駆除し補助金を申請しても、補助金がおらず保留されており、捕獲しても補助金が下りないのでとはと不安な日々を送られていました。

鳥獣被害防止総合対策事業補助金(緊急捕獲活動支援事業)の円滑な捕獲事業が実施できるように、当初において十分な予算確保をしていたべく、陳情活動をおこなった。

その結果、後日農林水産省農村振興局より30年度の予算配分について報告がありましたが、予算措置を講じてくれました。今後とも、十分な予算措置をいただき、鳥獣害対策を進めていきたい。

また、今年3月に日向の杜(食肉加工施設)上芳養が開所しスタートしていること、それをサポートする地域の猪八戒の活動等を説明し、はやくモデル地区に選定していただくべく、話もしてきました。まずは、実績作りということで、今後の実績作りが大事になってきます。